

平成 29 年度

運輸安全マネジメントの取り組み



期間：平成 29 年 4 月 1 日～30 年 3 月 31 日

平成 29 年 4 月 1 日

有限会社山口運送

長生営業所

有限会社山口運送は、代表取締役社長（山口弘行）をはじめ、全従業員が輸送の安全を確保するために、一丸となって取り組んでまいります。

① 輸送の安全に関する基本的な方針

A: 社長は、輸送の安全確保が事業の根幹であることを深く認識し、社内において輸送の安全確保に主導的な役割を果たす。また、現場における安全に関する声を真摯に受け止めるなど現場の状況を踏まえつつ、社員に対し輸送の安全確保が最も重要であるという意識を徹底させる。

B: 輸送の安全に関する計画の策定(P)、実行(D)、チェック(C)、改善(A)を遂行することにより、絶えず輸送の安全に関する情報について、積極的に公表する。

② 輸送の安全に関する重要施策

A: 輸送の安全確保が最も重要であるという認識を徹底し、関係法令及び、安全管理規定に定められた事項を遵守すること

B: 輸送の安全に関する費用支出、投資を積極的かつ効率的に行うよう努めること

C: 輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正又は予防装置を講ずること

D: 輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、社内において必要な情報を伝達共有すること

E: 輸送の安全に関する教育及び研修に関する具体的な計画を策定し、これを的確に実施すること

③ 輸送の安全に関する目標 ※前年度各事故及び、飲酒検知件数0件

A: 事故（人身、物損等）ゼロ件の継続

B: デジタコ安全評価C以下/月間 ゼロ件

④ 輸送の安全に関する取り組み

A:安全意識の高揚と法令順守

○経営トップ・安全統括管理者の巡回や関係法令勉強会の実施

B:輸送の安全に必要な投資

○合宿型安全運転研修への参加

○ドライブレコーダー全車両導入

○健康診断年2回受診（乗務員の半数以上）

○SASスクリーニング検査（年1回）

C:内部監査による是正/予防措置

○内部監査担当者を設置し、監査の実施

D:教育研修の充実

- 外部研修への積極的な参加を行い、安全意識、運転技術、省燃費運転等の向上をはかる。

⑤ その他

A:デジタルタコグラフの活用

- 安全走行改善（速度、急発進、急減速、回転数）

B:ドライブレコーダーの活用

- 事故防止のための安全教育に活用（自己分析・予測予防運転）

C:無事故無違反運転手表彰制度

- 無事故無違反連続5年以上を経過したドライバーへ対して、表彰を行う。

D:健康管理体制の強化

- 健康診断・・・年2回の受診を行う（乗務員の半数以上）  
産業医への健診結果相談
- 無呼吸（S A S）検査・・・毎年1回行う

⑥ 現場の強化

A:コミュニケーション力の強化

- 運行時の問題点の報告連絡（車両や道路の以上等）
- ヒヤリハット・ヒューマンエラーへの対応（問題意識の選出）
- 基本操作、予測運転の実施

⑦ 安全に関する投資

- 設備、機器等に関する投資・・・
  - 教育に関する投資・・・（宿泊を伴う合宿<2~3日間>へ参加）  
（履歴証明書）  
（適齢診断）
  - 安全に関する啓発項目・・・（無事故無違反者表彰制度）
- <合計： >

⑧ 安全管理規定

別紙のとおり

⑨ 安全統括管理者

- 山口

以上